

令和元年 7 月 25 日

報道関係 各位

NHK 大河ドラマ「いだてん」にも登場 「近代スポーツの父」

岸清一弁護士所蔵の訴訟記録を発見

明治から昭和にかけての貴重な裁判記録

NHK 大河ドラマ「いだてん～東京オリンピック囃～」で大日本体育協会第 2 代会長として登場する弁護士の岸清一氏。弁護士として活動する傍ら、日本人として嘉納治五郎氏に続き 2 人目の国際オリンピック委員会 (IOC) 委員に就任し、昭和 15 (1940) 年オリンピックの東京招致活動を推し進めるなど、広く日本スポーツ界の発展に寄与した人物として知られています。岸氏の寄付によって建てられた岸記念体育会館(渋谷区)には多くの競技団体が事務所を置き、5 月には JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE(新宿区)として生まれ変わりました。

岸氏の事務所が扱った事件の訴訟記録が本学の図書館・情報メディアセンターに大量に保管されていることがわかりました。『岸清一訴訟記録集』としてごく一部が刊行されていますが、未公開の記録が大部分を占めています。岸氏の訴訟記録は、明治から昭和にかけての裁判記録であり、すでに裁判所の事件記録が特別保存等ごく一部の事件を除いて廃棄されていることから、当時の裁判記録は、裁判の研究にとって、重要性・希少性が高いものといえます。

今後は、訴訟資料の整理・調査・データベース化を、本学法学部比較法制研究所のプロジェクトとして持ち上げる予定です。



◀ ▲ 所蔵されている訴訟記録

■所蔵点数

約 780 点と推定 (資料保存箱 39 箱分)

■内容

明治 23 年から昭和 8 年までの訴訟記録 (サンプリング調査による)

※訴訟案件リストの作成を進めている段階です。現段階でわかる範囲での案件はお見せできます。

■所蔵の経緯

昭和 10 年から 14 年に岸同門会によって刊行された『岸清一訴訟記録集』(民事編・行政編・特許審判編等)によると、かつて岸法律事務所で弁護士事務修習をしていた本学初代法学部長・中村宗雄(日本学士院物故会員)が記録集の記録整理委員として携わっていることから、なんらかの経緯によって、岸法律事務所の訴訟記録が本学に所蔵されているのではないかと考えられます。

■取材について

本学法学部教授および所蔵する図書館・情報メディアセンター職員が対応します。まずは広報課までご連絡ください(8 月 13 日～31 日は取材をお受けできかねますので予めご了承ください)。

本プレスリリースに関するお問い合わせ

国土舘大学広報課

TEL: 03-5481-3115

E-mail: kouhou@kokushikan.ac.jp

担当: 清水、宮路